

環境・CSR 報告書 2022

Environmental・CSR Report 2022

日光杉並木オーナー
(株)協立製作所
大谷津 敏之

日光杉並木オーナー制度に保護賛同 (3 本目)

栃木県知事許可(般-3)第 16033 号

KYORITSU ELECTRICAL MANUFACTURING INDUSTRY Co.,Ltd.

制御で
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA



(一社)日本配電制御システム工業会 JSIA 優良認定工場
(一社)公共建築協会評価書(盤類)取得工場
ISO9001・ISO14001 認証取得工場

株式会社 協立製作所

配電盤事業部・盤ドック事業部・防犯事業部

— 社長メッセージ — — SDGs（持続可能な開発目標）の達成を目指して —

—— 配電盤・制御盤メーカーとして社会に貢献できる企業へ ——

2006年1月にISO14001の認証を取得してから、地球環境問題への取り組みを定め、環境保全活動を積極的に推進してまいりました。ISO14001をはじめ、2009年1月には『ECO うつのみや21』認定（宇都宮商工会議所）、2009年12月には『エコキーパー事業所（★★★三ツ星）』認定（栃木県）されるなど、複数の環境マネジメントシステムから弊社の環境活動をモニタリングしてまいりました。現在では、効率化の観点からISO14001の環境マネジメントシステム1つに集約しております。2009年12月には、『マロニエ ECO 事業所表彰』の「温室効果ガス削減部門」において特別賞を受賞し栃木県知事から表彰を受けました。

震災の影響により電力が心配された2011年の夏には、節電活動に全力で取り組み、使用電力量を昨年比で△70%超を達成し、宇都宮市長より『うつのみや節電大作戦』特別賞をいただき、2012年には弊社の節電活動に関してテレビ取材を受けました。

2014年12月には太陽光発電システムを本社屋上と製品倉庫屋上に導入し、再生可能エネルギーの有効活用を開始しました。現在では、栃木県内外に25カ所の自社所有の太陽光発電所の維持管理をおこなっております。

CSR活動においては、2009年11月に『宇都宮まちづくり貢献企業』に認定されております。2010年2月には『宇都宮市雇用優良事業所表彰』において優秀賞を受賞し、2012年には日本赤十字社様から金色有功章を受章しております。2013年には、前年度から実施している宮城県石巻市への災害ボランティア活動（花苗植え(5月)・餃子屋台(2013年11月および2014年06月)）や「認知症サポーター養成講座」の開催(9月)、「宇都宮CSRフォーラム」でのCSR活動事例発表(11月)など、より幅広く活動を推進しています。また、厚生労働省「ものづくりマイスター（電気製図電気機器組み立て、電工）」として認定されており、マイスター派遣の要請に応じて講師としても社会に貢献しています。その他、2009年および2021年に「日光杉並木オーナー制度」に賛同し、日光杉並木オーナー（3本）となっております。

製造業としての製品品質はもちろんのこと、地球環境にもやさしい企業活動を続け、自動制御盤・配電盤・監視制御装置の設計・製造を通し、国家・社会に貢献できる企業をめざし、より一層努力してまいります。SDGs（持続可能な開発目標）の達成のためにも、皆様方の一層の御支援・御指導をお願い申し上げます。

令和4年8月吉日
株式会社協立製作所
代表取締役社長 大谷津敏之



— 目次 —

1. 環境報告

(1) 環境方針

(2) 事業活動により環境に与える影響

(3) 品質・環境管理体制

(4) 令和3年度の環境活動目標

(5) 廃棄物削減を目的としたリサイクル推進

(6) 推移グラフ ①事務用紙使用量 (16年間) 売上高ベース・量ベース

②一般廃棄物排出量 (16年間) 売上高ベース・量ベース

③CO₂排出量 (16年間) 売上高ベース・量ベース

(7) 太陽光発電システムの導入 —再生可能エネルギーの有効活用—

(8) 「日光杉並木オーナー制度」への賛同 —日光杉並木保護—

(9) 「緊急事態への対応」—新型コロナウイルス感染防止対策と感染後の対応—

日光杉並木オーナー

(株)協立製作所

大谷津 敏之

— 目次 —

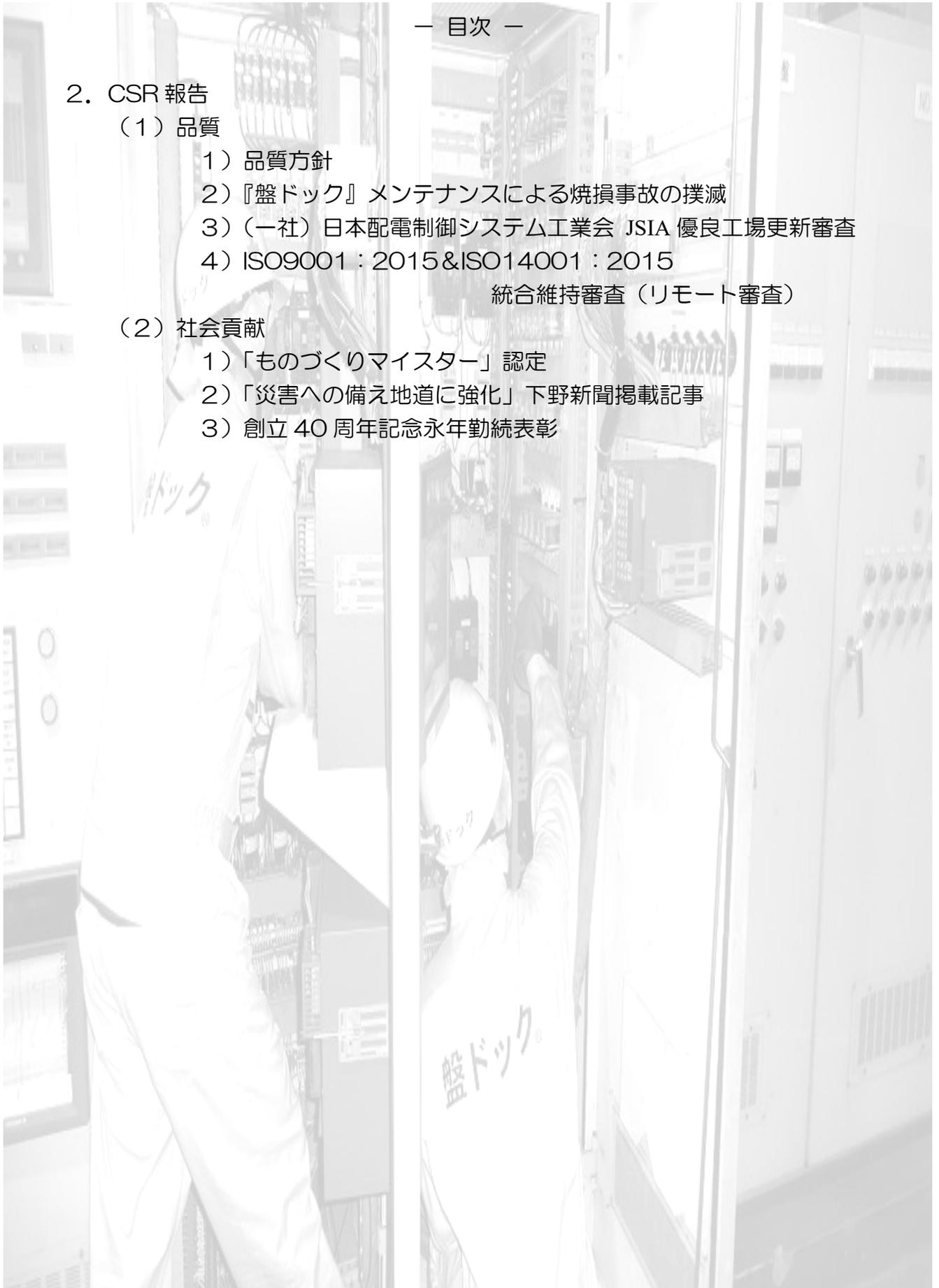
2. CSR 報告

(1) 品質

- 1) 品質方針
- 2) 『盤ドック』メンテナンスによる焼損事故の撲滅
- 3) (一社) 日本配電制御システム工業会 JSIA 優良工場更新審査
- 4) ISO9001 : 2015&ISO14001 : 2015
統合維持審査 (リモート審査)

(2) 社会貢献

- 1) 「ものづくりマイスター」認定
- 2) 「災害への備え地道に強化」下野新聞掲載記事
- 3) 創立 40 周年記念永年勤続表彰



環境報告

(1) 環境方針 —クリーンで地球環境にやさしい配電盤づくりをめざします—



弊社では、配電盤・制御盤の設計・製造活動をおこなうにあたり、品質・環境マネジメントシステムを設けています。

品質・環境方針を定め、品質・環境マネジメントシステムの継続的改善を推進することにより、より地球環境にやさしい配電盤づくりをめざしています。

品質・環境方針

《基本理念》

1. 私達はおお客様の要求に適合する製品を提供することにより、お客様の信頼とご満足を追求し続けます。
2. 私達はクリーンな地球環境との共生を人類共通の課題と認識し、企業活動を通し安心できる社会と環境づくりに貢献します。

《基本方針》

1. ISO9001・ISO14001に基づく品質・環境マネジメントシステムを構築し、その要求事項の適合と有効性の継続的な改善を行います。
2. 法規制及び利害関係者の要求事項を順守し、当社のマネジメントシステムに従い行動します。
3. 一人ひとりがお客様の視点にたつて、制御盤・配電盤及び監視制御装置の品質向上を目指します。
4. 省資源・省エネルギー活動を推進し、廃棄物の削減と資源の有効利用に努めます。
5. 有害物質の使用を削減し、汚染の予防に努めます。
6. 二酸化炭素の発生量を削減し、気候変動の緩和に努めます。
7. この方針は定期的にレビューし、日々変化する現況を適時反映させます。

2017年 5月1日

株式会社 協立製作所

代表取締役 大谷津敏之

(2) 事業活動により環境に与える影響

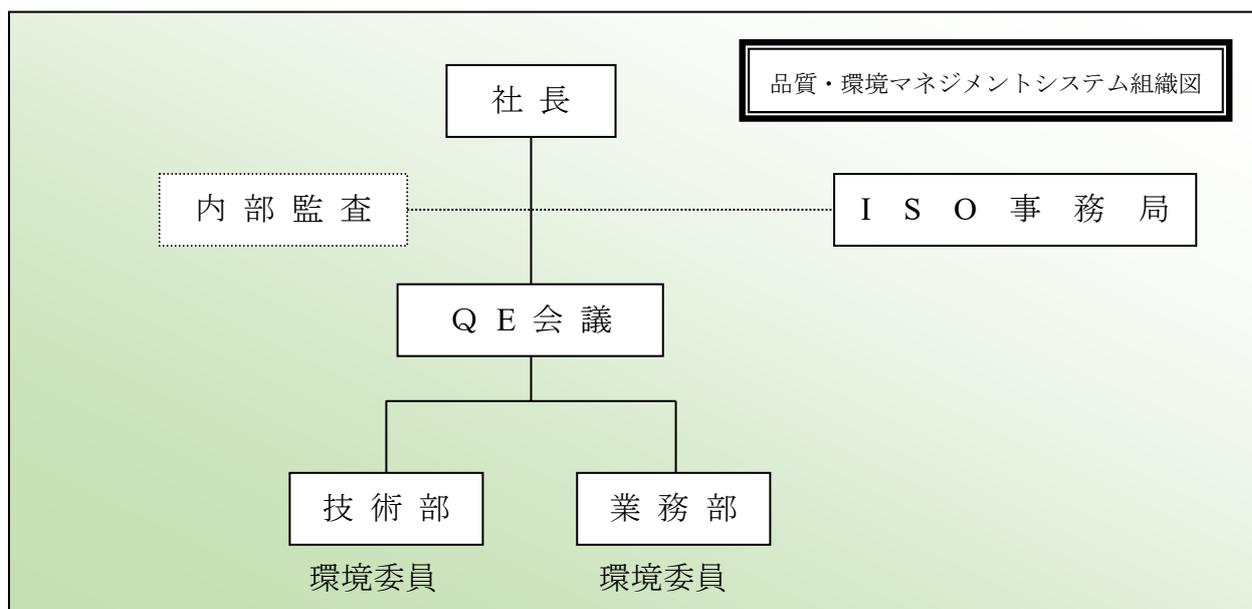
弊社は、制御盤、配電盤および監視制御装置の設計・製造を通し、お客様の一品毎の設計・製造のニーズに継続的に応えています。この事業活動のあらゆる段階における環境負荷の把握およびその低減を図るために様々な環境活動を推進しています。

環境に与える影響（OUTPUT）の要因になるもの（INPUT）として、生産活動における燃料や電気等のエネルギーの消費、部品の梱包材等の廃棄物、製品の設計段階および事務処理で発生するコピー用紙が主に挙げられます。これらのINPUTを効率的に活用し全体の使用量を削減するための活動を積極的に取り組んでいます。

この活動を推進していくことにより、大気汚染、廃棄物の排出の低減を図っています。

(3) 品質・環境管理体制

弊社では効果的かつ効率的な品質・環境マネジメントシステムの運用を図るために、有効な組織を構築し、役割や責任および権限を明確にしています。



内部環境監査員を置き、定期的に環境内部監査を行うことにより、環境マネジメントシステムの運用が効果的かつ効率的に働いているかどうかを評価しています。

また、定期に開催する品質および環境のマネジメントシステムに関する会議（QE会議：毎月1回実施）を通して、組織運営上の情報を共有化し、目標達成の有効性の確保に努めています。

さらに、環境マネジメントシステムの実行にあたり、社員一人ひとりの意識向上と環境に対する知識の習得のため、教育訓練を行っています。

(4) 令和3年度の環境活動目標

項目	目標	具体的な取組内容
省資源	一般廃棄物の削減	一般廃棄物の一部を資源ごみとしてリサイクル（分別の徹底）
地球温暖化防止	廃棄物焼却・燃料及び電気の消費により発生するCO ₂ の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・電気・燃料使用量の削減 ・焼却する廃棄物の削減
新型コロナウイルス対策	リモート会議推進	<ul style="list-style-type: none"> ・通信機器設置の充実化
設立40周年記念事業	「日光杉並木オーナー制度」保護賛同	<ul style="list-style-type: none"> ・「日光杉並木オーナー制度」に保護賛同

(5) 廃棄物削減を目的としたリサイクル推進

弊社では、製品の設計や業務活動においてコピー用紙を使用しており、製品を製造する過程で部品の梱包材等の一般廃棄物を排出しています。この結果、これら一般廃棄物の焼却および事業活動の展開を通して二酸化炭素が排出されています。貴重な資源を有効活用し今後の地球環境に大きく関わる二酸化炭素の排出を削減するためには、事業活動におけるリデュース、リユースおよびリサイクルの取り組みが重要であると認識し、

- 【省資源】として《一般廃棄物の一部を資源ごみとしてリサイクル（分別の徹底）》
- 【地球温暖化防止】として《電気・燃料使用量の削減焼却する廃棄物の削減》
- 【新型コロナウイルス対策】として《リモート会議の推進》
- 【設立40周年記念事業】

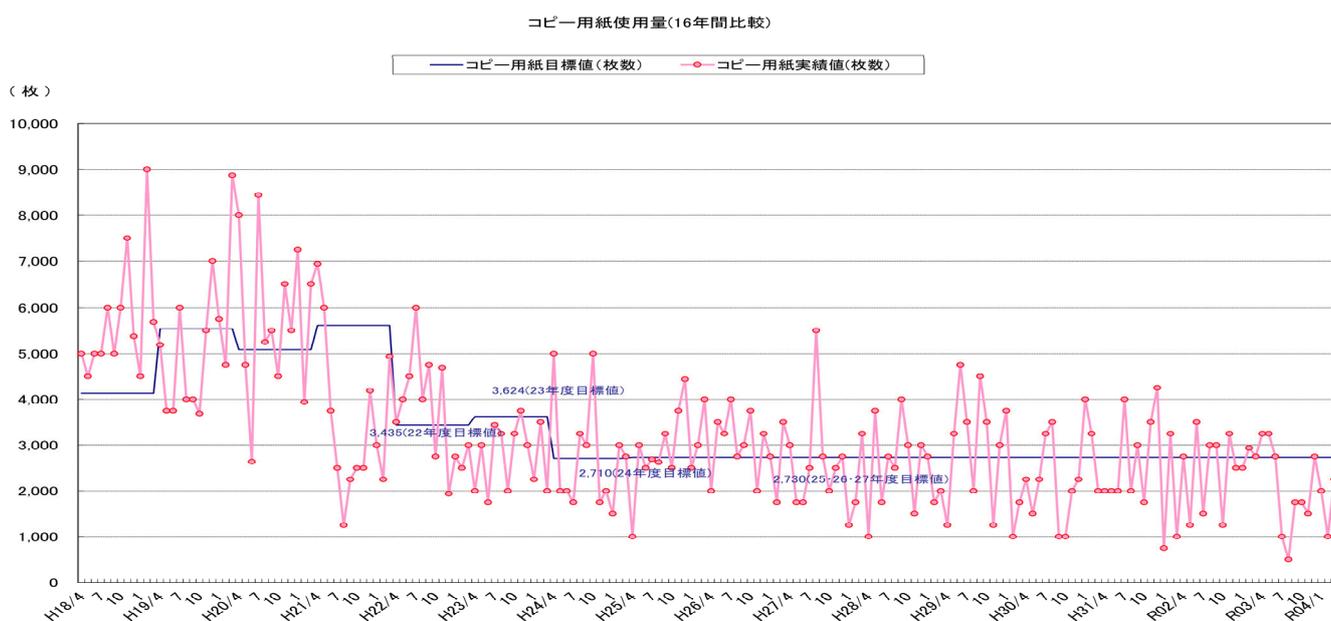
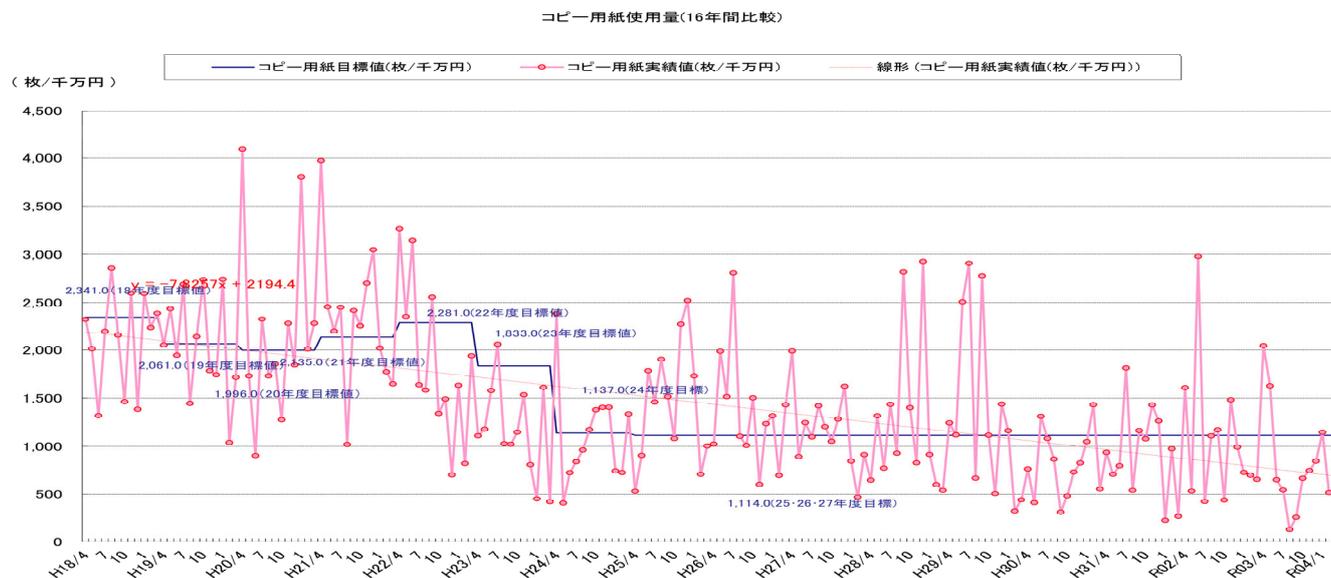
を令和3年度に取り組む内容とし、

- ① 一般廃棄物の削減（一般廃棄物の一部を資源ごみとしてリサイクル）
- ② 地球温暖化防止（CO₂の削減/電気・燃料の使用の効率化・使用量の削減）
- ③ 通信機器設置の充実
- ④ 「日光杉並木オーナー制度」保護賛同

を目指し活動してきました。

この結果、①一般廃棄物は2018年度基準対比で売上高原単位において40.6%減少、②CO₂は2018年度対比で売上高原単位において19.3%減少しました。また、③リモート会議推進は、モニター・カメラ・マイク・切替器などの設置、④設立40周年記念事業として、「日光杉並木オーナー制度」への保護賛同を通し、日光杉並木のオーナーになりました（3本目）。

(6) 推移グラフ（事務用紙使用量・一般廃棄物排出量・CO₂ 排出量）

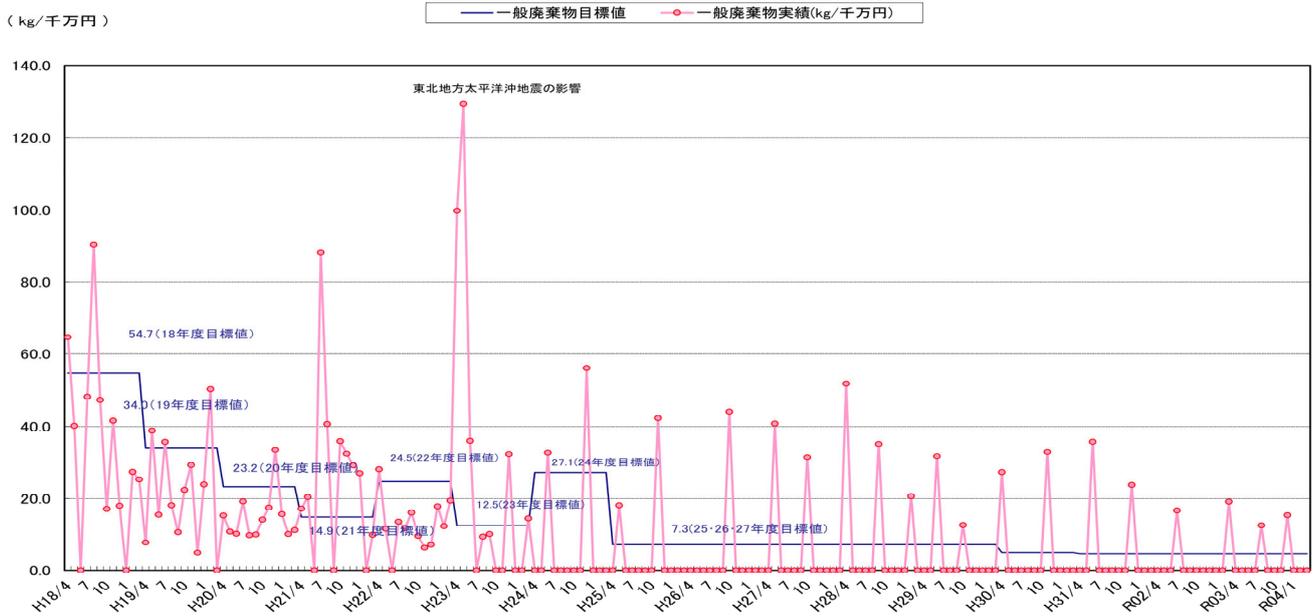


事務用紙使用量の推移

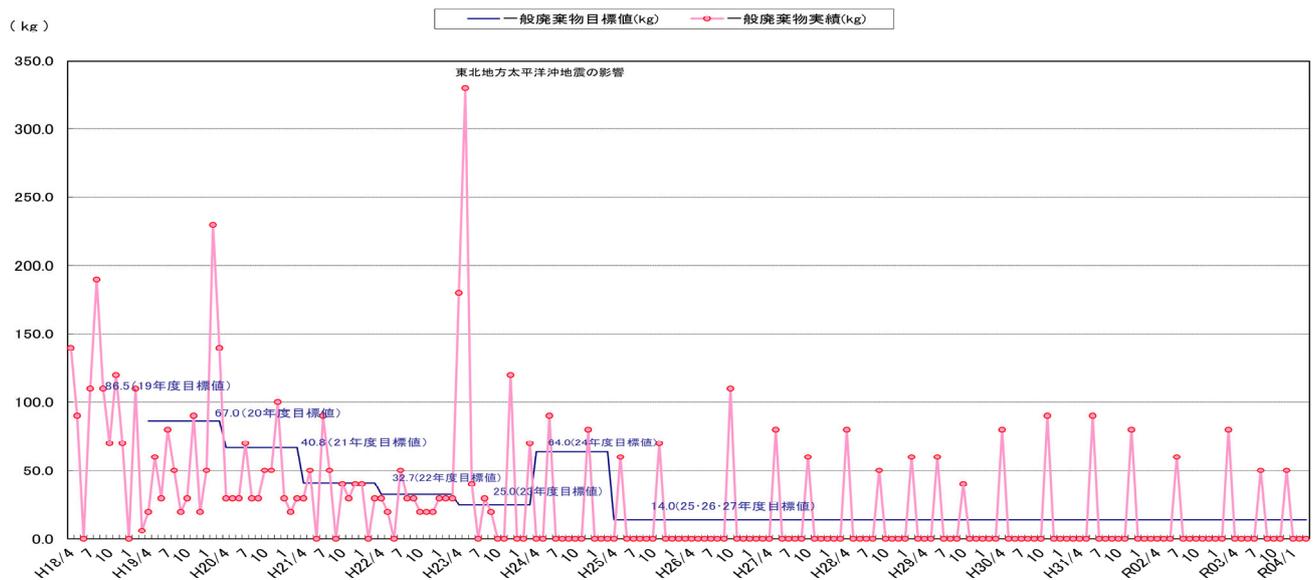
過去 16 年間の事務用紙使用量の推移のグラフです。反故紙の使用や両面印刷の励行により、近年まで事務用紙の使用量を減少させることができました。

下段のグラフは、枚数単位にもとづく 16 年間の推移です。前年度と比較して同程度の消費だったことがわかります。また、平均して目標値水準を維持していることがわかります。上段のグラフは、売上高原単位にもとづく 16 年間の推移です。前年と比較して付加価値の高い受注にシフトしたことに伴う売上高の増加により原単位使用量が減少しています。

一般廃棄物(16年間比較)



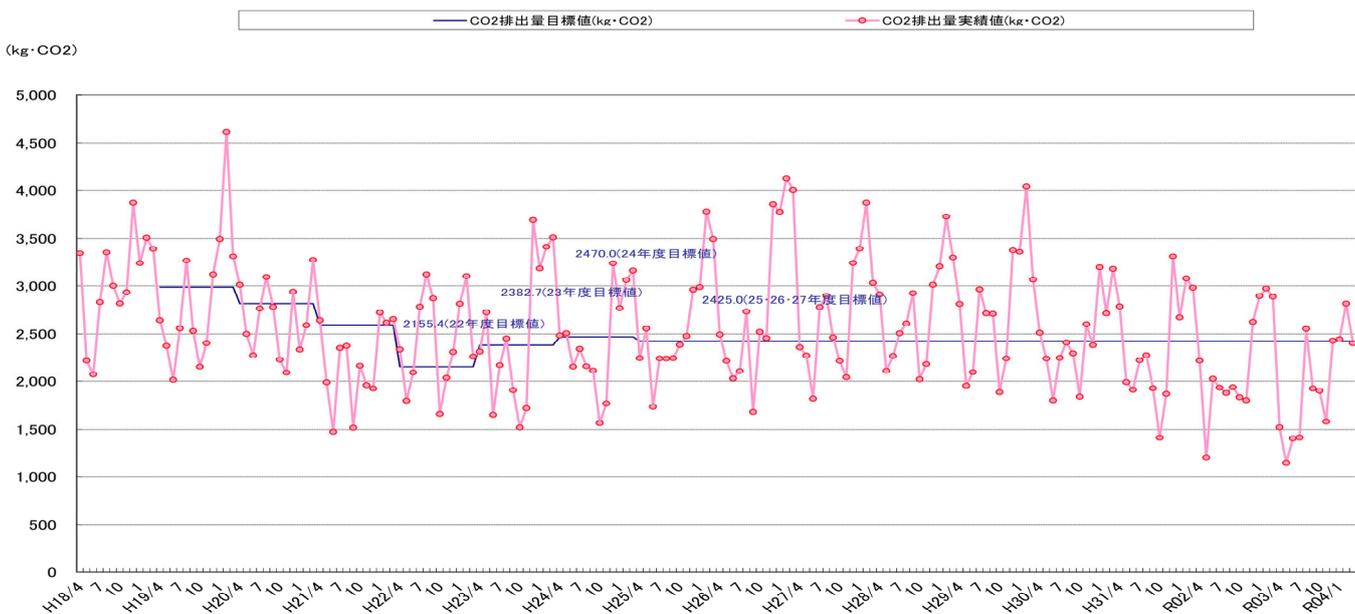
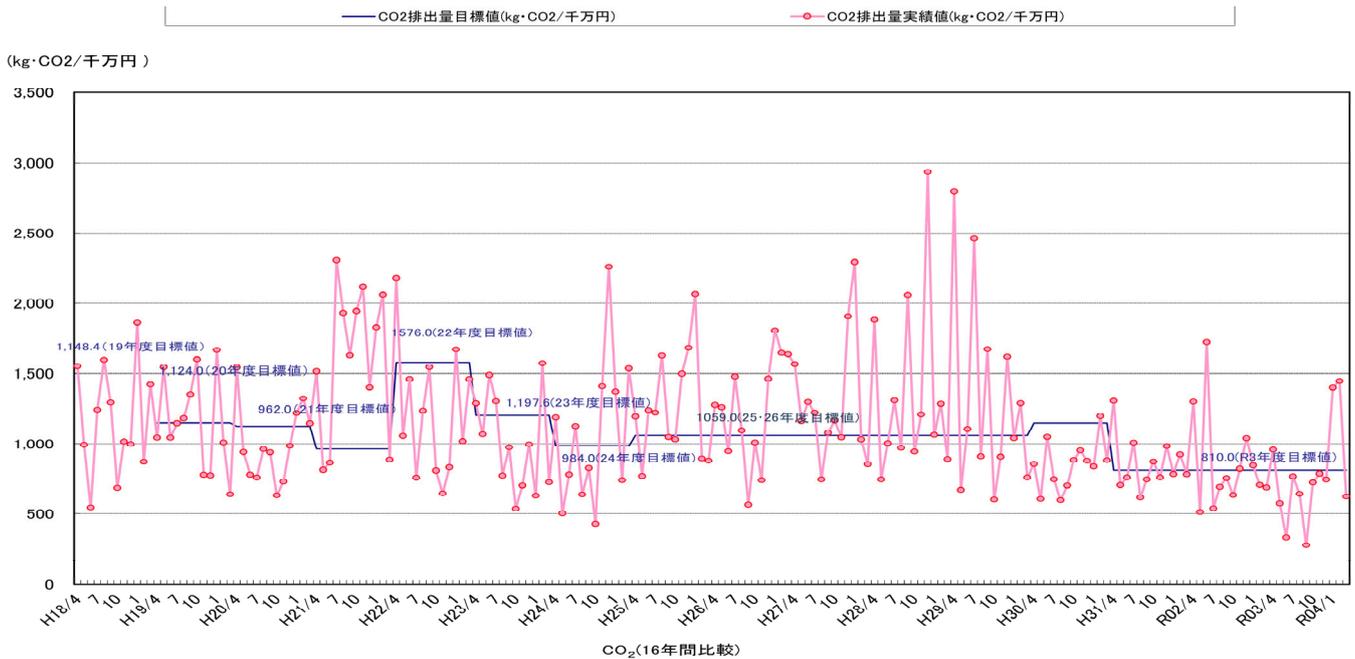
一般廃棄物(16年間比較)



一般廃棄物の排出量の推移

過去16年間にわたる一般廃棄物の排出量の推移のグラフです。

一般廃棄物は紙・布・木屑で構成されています。16年間の間において時間が経過するにたが、排出量が大幅に抑制されていることがわかります。これは、一般廃棄物の一部(ダンボール・厚紙)としていたものを「資源ごみ」としてリサイクル利用に転用したことや、事務用紙の使用方法に関して、反故紙の利用や両面印刷の励行を実施しているため、事務用紙の排出量が抑えられているためです。さらに資源ごみの分別徹底をおこない、新聞紙・ダンボールなどを「有価物」として転用できるようになったため、最近では一般廃棄物の排出量が「0(ゼロ)」となる月が多くなっています。

CO₂(16年間比較)

二酸化炭素の排出量の推移

過去16年間にわたる二酸化炭素の排出量の推移のグラフです。

二酸化炭素の排出は、主に自動車燃料の消費・電気エネルギーの消費で構成されています。下段のグラフはCO₂の排出量ベースのグラフです。2011年の地震により建物が半壊の被害に遭い、大規模な補修を行っております。それに伴い空調設備の入れ替えを実施したことによる建物環境の変化を原因とした冬季暖房の電力消費が上昇しています。全体的には緩やかな抑制傾向にあります。新たに冬季の節電対策が必要になることが読み取れます。省エネルギー活動を積極的に実施しているほか、平成26年12月より太陽光発電システムを導入しており、現在、県内外に25カ所の太陽光発電所を所有しています。

(7) 太陽光発電システムの導入 ー再生可能エネルギーの有効活用ー

環境負荷の低減を考慮し、2014年12月に弊社工場屋上および製品倉庫屋上に太陽光発電設備を設置しました。2022年5月現在、県内外に25カ所の自社所有の太陽光発電所を稼働させています。再生可能エネルギーの導入により、地球環境負荷の低減を図ります。



製品倉庫屋上に設置した太陽光発電システムのモジュール（宇都宮市白沢町）



壬生太陽光発電所（下都賀郡壬生町）



南上野第2太陽光発電所（鹿沼市南上野町）



工場内や事務所内に設置された電力モニタのグラフや数値で現在の発電量が把握できます。遠隔地の発電所は遠隔監視装置でモニタリングしています。

遠隔地の発電所の発電状況を「エコめがね」で確認

(8)「日光杉並木オーナー制度」への賛同 ー日光杉並木保護ー



2021年11月8日

於) 栃木県庁本館9階特別会議室

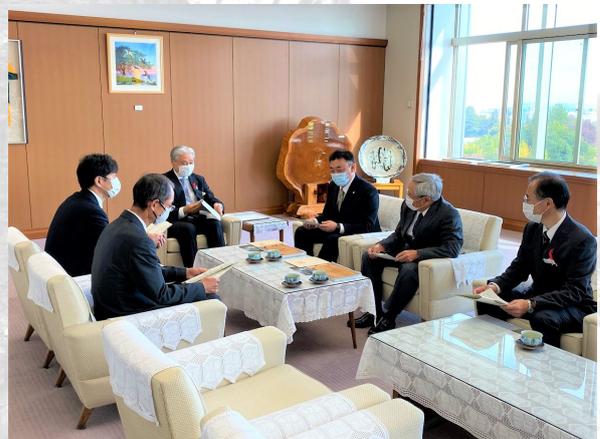
2021年12月に創立40周年を迎える記念として、日光杉並木オーナー制度に保護賛同しました。前回の弊社社長夫妻の保護賛同に引き続き、3本目の日光杉並木オーナーとなりました。



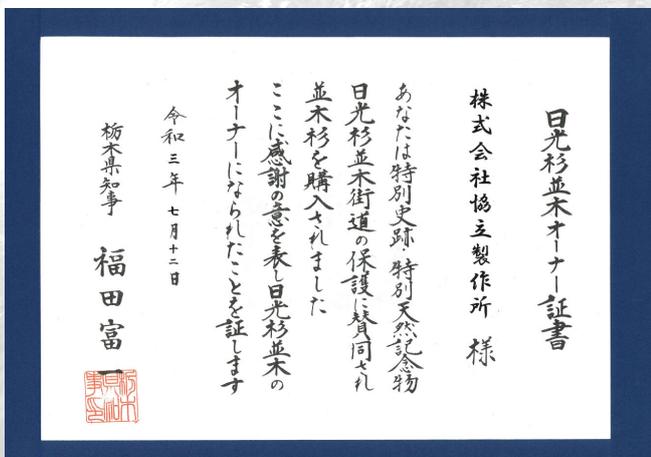
福田富一栃木県知事と記念撮影

「日光杉並木オーナー制度」とは

杉並木保護に賛同し出資した基金の運用益で並木杉の樹勢回復・自然環境保護を目的に平成8年より栃木県が実施している事業です。



知事および日光東照宮権宮司稲葉尚正氏との懇談



日光杉並木オーナー証書



オーナー証書(木製)

日光杉並木

日光杉並木は、日光東照宮が造営された頃に、徳川家の家臣であった松平正綱、正信親子2代により20数年の歳月をかけて植えられたものです。1625年の植栽から390年余りの歴史が刻まれています。

栃木県が世界に誇る貴重な文化遺産で、わが国唯一、国の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けており、また世界で最も長い並木道としてギネスブックに掲載されています。

(9)「緊急事態への対応」－ 新型コロナウイルス感染防止対策と感染後の対応 －

緊急事態への対応として、火災や地震に対する防災訓練と同時に、新型コロナウイルス感染防止対策と感染後の対応も確認しています。



手洗い・うがい・マスク着用
アルコール消毒



毎朝の検温の記録を実施



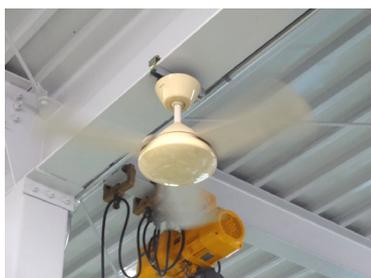
定期的な換気の実施（朝礼前・午前・午後）



毎日の定期的な手すり・ドア取手などの消毒・清掃



社会的距離を考慮した朝礼の実施



サーキュレタによる空気循環



加湿器で乾燥防止



CO₂ 濃度や動脈血酸素飽和度の測定の実施



喚起を徹底した会議室



パーティションの設置



手順書による新型コロナ対応の確認

CSR 報告

(1) 品質

1) 品質方針 — 徹底した品質管理と高い技術力で — 信頼される製品づくりをめざします



弊社では、顧客満足の向上と安心できる環境づくりをめざし、品質・環境マネジメントシステムの改善を継続的に推進することにより、社会貢献するために、品質方針と環境方針を定めています。

当社は、品質マネジメントシステムの継続的改善を推進するため、複数の外部審査を受けています（ISO9001、(一社)日本配電制御システム工業会 JSIA 優良工場認定審査、(一社)公共建築協会/電気設備機材等評価書（盤類/制御盤））。

品質・環境方針

《基本理念》

1. 私達はおお客様の要求に適合する製品を提供することにより、お客様の信頼とご満足を追求し続けます。
2. 私達はクリーンな地球環境との共生を人類共通の課題と認識し、企業活動を通し安心できる社会と環境づくりに貢献します。

《基本方針》

1. ISO9001・ISO14001 に基づく品質・環境マネジメントシステムを構築し、その要求事項の適合と有効性の継続的な改善を行います。
2. 法規制及び利害関係者の要求事項を順守し、当社のマネジメントシステムに従い行動します。
3. 一人ひとりがおお客様の視点にたつて、制御盤・配電盤及び監視制御装置の品質向上を目指します。
4. 省資源・省エネルギー活動を推進し、廃棄物の削減と資源の有効利用に努めます。
5. 有害物質の使用を削減し、汚染の予防に努めます。
6. 二酸化炭素の発生量を削減し、気候変動の緩和に努めます。
7. この方針は定期的にレビューし、日々変化する現況を適時反映させます。

2017年5月1日

株式会社 協立製作所

代表取締役 大谷津敏之

2) 『盤ドック』メンテナンスによる焼損事故の撲滅

締付不良による焼損事故を撲滅することは、配電盤・制御盤メーカーとしての社会的責任と認識し、配電盤の熱画像による過熱箇所診断サービス『盤ドック』(商標登録番号：第5241322号)のメンテナンス業務をおこなっています。

『盤ドック』とは？

熱画像カメラ(サーモグラフィカメラ)を用いて配電盤および高圧キュービクル等の充電部の電気回路の**異常点**を発見する**非破壊検査**です。

締付不良・ネジの緩み等を原因とした**異常昇温**による**焼損事故**や事故の波及による**工場設備の稼働停止**等を未然に防ぐことに効果的です。

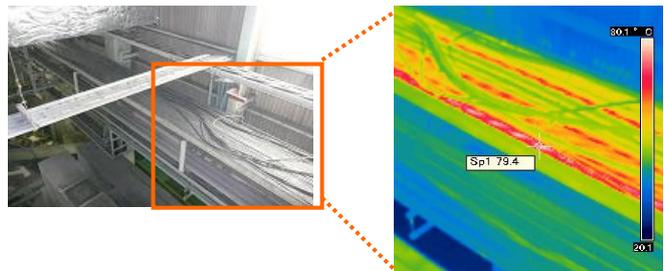
展示会でも大好評です



『盤ドック』展示会出展
—毎年11月中旬ごろ開催—
『ものづくり企業展示会・商談会』
(マロニエプラザ大展示場にて)

『盤ドック』案内用リーフレット

配電盤以外の箇所にも有効です



ケーブルラックの温度です(冬期で最高箇所79.4°Cでした)。このように配電盤以外の箇所にも応用できます。



制御盤メーカースタッフによる専門的な検査です



『盤ドック』商標登録証

3) (一社) 日本配電制御システム工業会 JSIA 優良工場更新審査

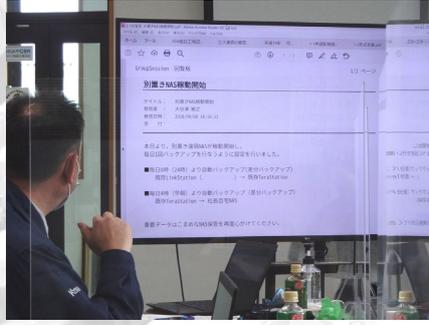
審査実施日 2021年05月11日

於) 株式会社協立製作所 会議室および工場作業場

最新更新日 2021年06月24日



オープニングミーティング
審査の詳細・進行を協議



3年間のQMSの実施状況や
前回の「立入審査指導事項」
に対するフォロー状況の確認



設計：規格適合に関する
設計支援文書及び記録の確認



製造・検査・品質保証関連の
プロセスの実施状況の確認



試験立会
(配電盤の「商用周波耐電圧試験」)



「JSIA 優良工場認定証書」
(有効期限：2024年6月30日)

JSIA 優良工場認定制度 場-Excellent Factory-

『JSIA (ジェシア) 優良工場』とは、お客様が配電盤メーカーを選択するさいの判断材料の一つとして利用して頂くことを想定し、優れた品質保証体制と優秀な製造技術を有する工場を認定する日本配電制御システム工業会独自の制度で、審査基準としては次の4点を特徴としています。

1. 高水準の品質保証体制の確立と維持
(ISO 9001 を基本に配電盤メーカーとして必要な事項を追加)
2. 配電盤メーカーとしての高い技術力の確保
(設計・製造・検査の国家資格等保持技術者の在籍義務、法令等の遵守能力)
当面の重点審査は波及事故防止対策と高周波抑制対策。その他時の技術動向に合わせて追加する
3. 製造技術に対する不断のレベルアップ
(指定講習会の受講義務)
4. 万一の場合の補償体制の確立
(PL 保険の加入義務)

4) ISO9001 : 2015 & ISO14001 : 2015 統合維持審査 (リモート審査)

2021年12月16日

DAS ジャパン (UKAS) による ISO9001 & ISO14001 の統合維持審査を受審しました。新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、昨年に引き続きリモート審査で受審しました。弊社は ISO9001 取得してから 21 年目、ISO14001 を取得してから 17 年目を迎えました。



WEB 会議中



オープニング・ミーティング



部門別の担当者が書類審査に回答



品質・環境を2画面で同時受審



リモートによる現場審査



製作指示書の記載内容確認



ISO9001 認定証



ISO14001 認定証

品質および環境の両面にわたり数々のご指摘や改善の機会を与えていただきました。

この結果、より効果的かつ効率的なシステム構築へのヒントもいただくことができました。

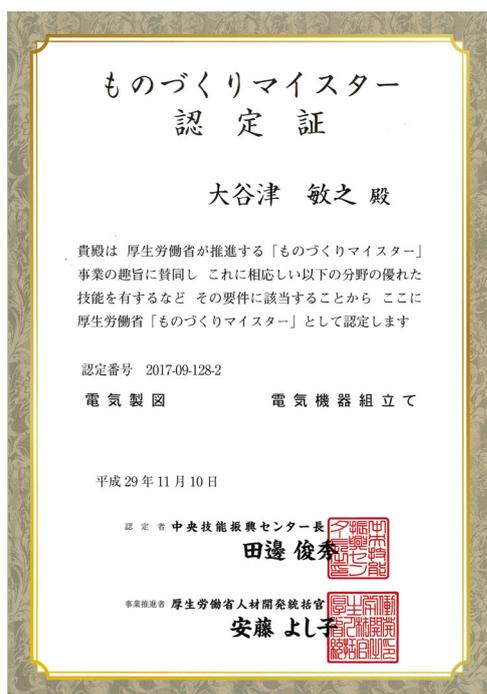
Trading name of SN Registrars (Holdings) Ltd

8327

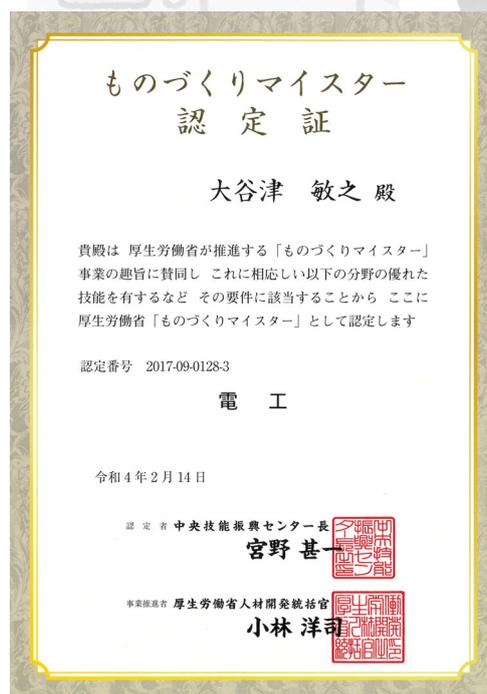
(2) 社会貢献

1) 『ものづくりマイスター』認定

厚生労働省が推進する「ものづくりマイスター」事業の趣旨に賛同し、これに相応しい「電気製図 電気機器組立て」・「電工」の分野の優れた技能を有するなど、その要件に該当することから、厚生労働省「ものづくりマイスター」として認定されました。



「ものづくりマイスター認定証」
『電気製図 電気機器組立て』



「ものづくりマイスター認定証」
『電工』

ものづくりマイスター制度とは

ものづくりに関して優れた技能、経験を有する方を「ものづくりマイスター」として認定・登録し、これら「ものづくりマイスター」が技能競技大会の競技課題などを活用し、中小企業や学校などで若年技能者への実践的な実技指導を行い、効果的な技能の継承や後継者の育成を行うものです。

○ 産業活動等の基礎となる技能者の育成等を図るため、「ものづくりマイスター」(ものづくり分野で1級技能士相当以上の指導経験豊富な熟練技能者) 派遣による中小企業の若年技能者等に対する実技指導などを実施します。

○ また、学生生徒を含む若者にもものづくり技能の魅力を発信し、ものづくり分野への入職・企業の人材確保・育成を促す観点から、マイスターによる技能検定受検を目指す若者への実技指導等の総合的な取組を推進します。

2) 「災害への備え地道に強化」下野新聞掲載記事

2021年03月11日

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震から10年が経過した際に、震災発生時の状況やその後の災害対策強化を下野新聞社様に取材していただきました。

下野新聞

2021年(令和3年)3月11日(木曜日)

経済 14

2021年(令和3年)3月11日
下野新聞 経済面に掲載 →

災害への備え地道に強化

宇都宮の協立製作所

11日で発生から10年を迎えた東日本大震災で、県内企業も社屋が倒壊したり、配電盤や自動制御盤設計・製造の協立製作所(宇都宮市白沢町、大谷津敏之社長)は工場が半壊となり、建て替えを余儀なくされた。震災後、顧客ニーズを外外部サーパーで保管するなど災害への備えを強化している。(吉田隆則)

データ分散、社員意識向上



東日本大震災で外壁が崩れ落ちた協立製作所の本社社屋=2011年3月11日、宇都宮市(同社提供)

東日本
大震災10年

「この先どうなるのか。ただがくせんとした」。大谷津社長は震災当時を振り返る。父の健敏前社長(現会長)の後を受けて社長に就任してからちょうど10年後が震災当日だった。宇都宮市白沢町は震内最大の震度6強を記録し、工



震災後に設置した太陽光発電システム(県内外に25カ所設置)



震災後に災害対策を強化して完成した新社屋(2011年10月)

政経部経済担当 電話028・625・1060 ファクス028・625・1061

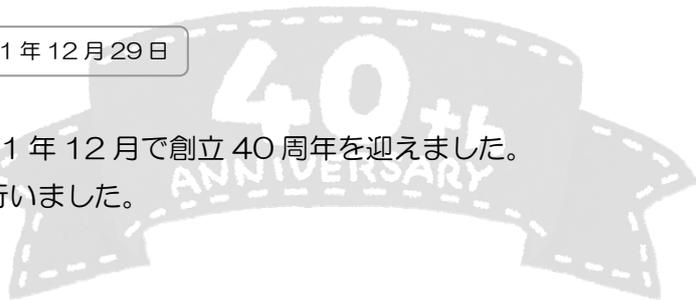
場近くの墓地は多くの墓石が倒れた。隣接する別の企業ではパニックに陥った外国人従業員の泣き叫ぶ姿があった。築30年が経過した同社の2階建て工場は外壁が剝がれ、エアコンや天井の一部が落下した。従業員15人のうち幸いにも社内には10人にけがはなかった。「半壊」の認定を受けた工場は鉄骨と屋根だけを残して建て替えた。完成までの半年間、被害を免れた倉庫を仮の事務所兼作業場として使用した。震災から1年後には生産体制も震災前の水準に回復した。震災後、災害対策をこれまでに強化した。災害内外に23カ所の発電所を所有し、年間数千万円単位の売電収入は会社の経営を大きく支える。大谷津社長は「目の前のことを地道にコツコツ取り組んだ10年。業種転換など、先を見据えた次の一手を考えたい」と話している。

これからも、(株)協立製作所は、緊急事態に対する備えにも最善の努力をおこない、配電盤・制御盤の設計・製造を通して、国家・社会に貢献できる企業を目指します。

3) 創立 40 周年記念永年勤続表彰

2021 年 12 月 29 日

1981 年 12 月 7 日に創立してから、2021 年 12 月で創立 40 周年を迎えました。
創立 40 周年を記念して、永年勤続表彰を行いました。



一人ひとりに表彰状と副賞の記念品



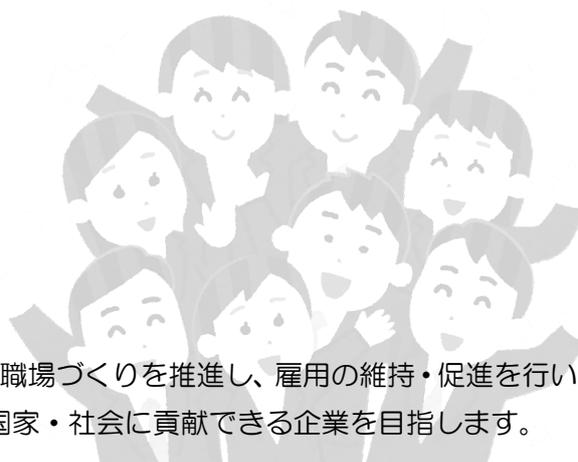
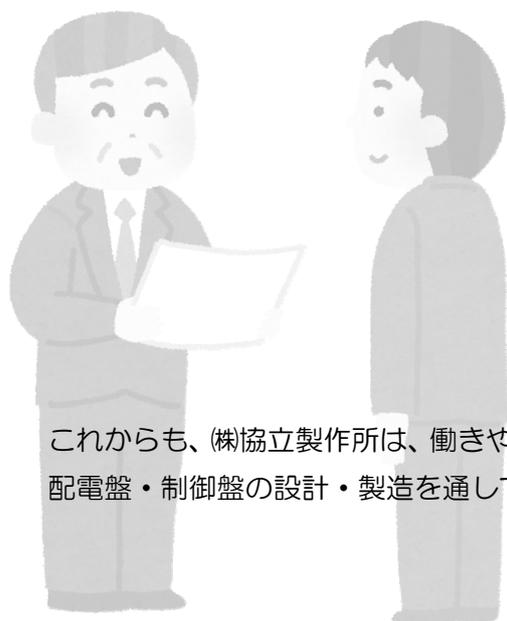
永年勤続 40 年の超ベテランもいます



色々な種類の副賞の記念品



若手も受賞



これからも、(株)協立製作所は、働きやすい職場づくりを推進し、雇用の維持・促進を行い、
配電盤・制御盤の設計・製造を通して、国家・社会に貢献できる企業を目指します。



<http://www.kyoritsu-ss.com>

発行元

株式会社 協立製作所 環境・CSR 委員会

2022 年 8 月発行

この「環境・CSR 報告書 2022」は弊社ホームページでも御覧いただけます

お問い合わせ等はこちらまでお願いします

〒329-1102 栃木県宇都宮市白沢町 1825-4

TEL 028-673-6331(代) FAX028-673-6333

URL : <http://www.kyoritsu-ss.com>

e-mail : kyoritsu@dream.com